



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月11日

東

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所  
 コード番号 8254 URL <http://www.saikaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井瀬 聡 (TEL) 046 (845) 6803  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	15,610	△23.9	△2	—	△62	—	△29	—
28年2月期第3四半期	20,502	△20.3	376	17.4	350	52.0	337	—

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 25百万円(△92.6%) 28年2月期第3四半期 345百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	△0.96	—
28年2月期第3四半期	10.82	8.11

(注) 平成29年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第3四半期	13,189	1,892	14.4
28年2月期	13,792	1,861	13.5

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 1,892百万円 28年2月期 1,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	—	—	0.00	0.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,330	△19.4	△100	—	△220	—	△210	—	△6.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年2月期3Q	31,353,142株	28年2月期	31,353,142株
② 期末自己株式数	29年2月期3Q	141,785株	28年2月期	140,243株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年2月期3Q	31,212,151株	28年2月期3Q	31,214,689株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は平成29年1月11日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 連結売上高の内訳	11
(2) 店別売上高(単体)	11
(3) 商品別売上高(単体)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年3月1日～平成28年11月30日)におけるわが国経済は、企業収益については、高い水準にあるものの改善に足踏みがみられ、企業の業況判断は慎重さがみられます。個人消費については、総じてみれば底堅い動きとなっており、景気については、このところ弱さもみられますが、緩やかな回復基調が続いております。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

百貨店業界におきましては、売上高は9か月連続でマイナスとなったものの、シェアの高い衣料品が徐々に回復していることを背景に落込み幅に改善傾向が見られております。また、インバウンドについても、売上高は8か月連続で前年を下回っておりますが、購買客数については46か月連続で前年を上回る傾向が続いております。地区別では、地方百貨店が厳しい状況は変わりませんが、大都市圏の特に売上規模の大きい東京地区につきましても4か月連続のマイナスとなっております。商品別では化粧品が20か月連続前年同月比プラスとなっている一方、富裕層の消費マインド低下は継続しており、美術・宝飾・貴金属は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、最終年度を迎える中期経営計画に基づき、「百貨店事業の強化」、「関連事業および新規事業への取り組み」、「財務体質の強化」、「人材育成の強化と組織風土の改革」の4つの主要課題に対応するための施策実行に全社を挙げて取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における営業の状況につきましては、期初の3月より、気温が総じて低かったことから、春物衣料が振るわず、その後の4月・5月につきましても、厳しい状況となりました。6月はお中元ギフトが順調に推移し、7月に入りクリアランスセールが好調にスタートするなど売上の回復傾向が見られたものの、7月中旬以降から8月にかけての天候不順により、特に衣料品の売上げが伸び悩みました。その後の9月・10月につきましても、秋物衣料が振るわず厳しい状況が続きましたが、11月は中旬以降の急激な気温の低下により、冬物衣料が好調に推移いたしました。更に、11月のお歳暮ギフトおよびおせち料理の受注が前年並みに順調に推移するものの、宝飾品をはじめとする高額品の売上が伸び悩んだため、全体の売上高は前年を下回る状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間において実施した営業施策として、藤沢店におきましては、10月に地下1階食料品フロアで、化学的な農薬や肥料・合成添加物などを極力含まない、主に国内産の食品を扱う専門店「こだわりや」の売場を拡張しリニューアルオープンいたしました。あわせて、隣接する「十勝大名(おはぎ・甘味)」を移設し、「サザエ」としてリニューアルオープンいたしました。また、11月には、ショップ内の工房で毎日パン職人が粉から仕込み、焼き上げる人気のベーカリー「横浜元町ポンパドウル」がイトインコーナーを併設し、装いも新たにリニューアルオープンいたしました。いずれのショップも、連日これまで以上のおお客様がご来店し、大変ご好評をいただいております。横須賀店におきましては、9月に甘味喫茶「茶房 紗綾さや」が地下1階食料品フロアに新たにオープンいたしました。気軽に立ち寄れる甘味処としてお客様からご好評をいただいております。

11月に各店にてスタートしたお歳暮ギフトセンターにおきましては、従来のギフト商品に加え、「冬のうれしいお買得」としてご自宅用の食料品等を集集し、プラスワン販売による売上高の向上を図りました。

このほか、人材育成や組織風土改革の観点からは、教育・研修に関する投資を行なうとともに、女性や若手社員の登用を積極的に行ない、全社一丸となって当社グループの成長を推進する組織風土の醸成に取り組んでおります。

一方、ローコストオペレーションを更に推進するため、各種経費の削減に努めるとともに、費用配分の見直しを含めた効果的な経費運用に取り組ましました。

以上のような施策を積極的に展開いたしましたが、藤沢店耐震工事に係る費用計上の影響および前年の第1四半期に旧川崎店の閉店セールを展開していたこと等もあり、当第3四半期連結累計期間の連結業績は前年同期比減収減益となり、売上高は15,610百万円(前年同期比76.1%)、営業損失は2百万円(前年同期は376百万円の営業利益)、経常損失は62百万円(前年同期は350百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は29百万円(前年同期は337百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産については13,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ602百万円減少しました。これは主に、借入金の返済等による現金及び預金の減少および不動産の売却に伴う固定資産の減少等によるものです。負債については、前連結会計年度末に比べて634百万円減少し11,296百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べて31百万円増加し1,892百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ544百万円減少し788百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、309百万円の収入（前年同期は926百万円の支出）となりました。主な増加項目は、減価償却費285百万円および仕入債務の増加額199百万円等であり、主な減少項目は、売上債権の増加額159百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、147百万円の支出（前年同期比63百万円の支出の増加）となりました。主な増加項目は、有形固定資産の売却による収入293百万円等であり、主な減少項目は長期前払費用の取得による支出322百万円および有形固定資産の取得による支出74百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、706百万円の支出（前年同期比319百万円の支出の増加）となりました。主な減少項目は、長期借入金の返済による支出615百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成28年10月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を、横須賀店を除き定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,332,291	858,026
売掛金	498,392	658,170
商品	838,413	817,086
貯蔵品	33,859	34,310
その他	270,740	247,164
貸倒引当金	△10	△40
流動資産合計	2,973,688	2,614,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,797,040	3,473,803
土地	4,828,822	4,564,020
リース資産(純額)	103,168	149,355
その他(純額)	27,255	25,459
有形固定資産合計	7,756,287	8,212,639
無形固定資産		
その他	75,443	60,349
無形固定資産合計	75,443	60,349
投資その他の資産		
投資有価証券	389,103	467,743
敷金及び保証金	1,645,716	1,615,642
破産更生債権等	14,883	13,117
長期前払費用	888,455	155,409
その他	61,970	61,970
貸倒引当金	△13,490	△11,920
投資その他の資産合計	2,986,638	2,301,962
固定資産合計	10,818,370	10,574,950
資産合計	13,792,058	13,189,669

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	38,416	40,120
買掛金	1,662,328	1,860,312
1年内返済予定の長期借入金	473,430	144,750
未払法人税等	3,372	6,213
商品券	895,831	812,042
賞与引当金	16,310	55,736
商品券回収損引当金	631,107	646,867
ポイント引当金	43,673	58,760
その他	790,757	695,023
流動負債合計	4,555,225	4,319,826
固定負債		
長期借入金	6,120,129	5,833,309
繰延税金負債	187,775	195,855
退職給付に係る負債	386,210	379,650
資産除去債務	222,836	145,733
リース債務	207,718	176,206
その他	251,140	246,279
固定負債合計	7,375,811	6,977,035
負債合計	11,931,037	11,296,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△1,736,731	△1,760,382
自己株式	△42,398	△42,485
株主資本合計	1,803,239	1,779,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,780	113,305
その他の包括利益累計額合計	57,780	113,305
純資産合計	1,861,020	1,892,807
負債純資産合計	13,792,058	13,189,669

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	20,502,015	15,610,333
売上原価	16,128,791	12,258,061
売上総利益	4,373,223	3,352,271
販売費及び一般管理費	3,996,308	3,354,801
営業利益又は営業損失(△)	376,914	△2,529
営業外収益		
受取利息	739	630
受取配当金	3,150	3,218
固定資産受贈益	8,512	7,700
補助金収入	60,729	39,323
その他	26,901	10,647
営業外収益合計	100,032	61,519
営業外費用		
支払利息	112,601	103,672
その他	13,982	17,558
営業外費用合計	126,583	121,231
経常利益又は経常損失(△)	350,363	△62,241
特別利益		
固定資産売却益	—	28,705
特別利益合計	—	28,705
特別損失		
固定資産除却損	18,957	1,031
特別損失合計	18,957	1,031
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	331,406	△34,567
法人税、住民税及び事業税	8,545	3,521
法人税等調整額	△14,742	△8,143
法人税等合計	△6,196	△4,622
四半期純利益又は四半期純損失(△)	337,603	△29,945
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	337,603	△29,945

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	337,603	△29,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,003	55,525
その他の包括利益合計	8,003	55,525
四半期包括利益	345,606	25,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345,606	25,579
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	331,406	△34,567
減価償却費	487,697	285,604
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△250	△1,540
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	2,775	15,760
賞与引当金の増減額(△は減少)	197	39,426
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△27,932	△6,560
ポイント引当金の増減額(△は減少)	14,159	15,087
受取利息及び受取配当金	△3,889	△3,848
支払利息	112,601	103,672
固定資産売却損益(△は益)	—	△28,705
固定資産除却損	18,957	1,031
売上債権の増減額(△は増加)	50,573	△159,777
たな卸資産の増減額(△は増加)	478,956	20,875
仕入債務の増減額(△は減少)	△723,295	199,688
未払消費税等の増減額(△は減少)	△273,957	3,838
未払費用の増減額(△は減少)	△195,654	28,308
その他	△406,379	△178,437
小計	△134,036	299,856
利息及び配当金の受取額	3,797	3,842
利息の支払額	△132,051	△103,824
店舗閉鎖損失の支払額	△280,183	—
法人税等の支払額	△384,159	△4,902
法人税等の還付額	—	114,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	△926,634	309,451
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△70,000	△70,000
有形固定資産の取得による支出	△227,373	△74,872
無形固定資産の取得による支出	△1,520	△1,794
有形固定資産の売却による収入	—	293,507
投資有価証券の取得による支出	△579	△597
差入保証金の回収による収入	412,537	29,074
長期前払費用の取得による支出	△228,036	△322,626
その他	31,233	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,738	△147,309
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△12,000	—
長期借入れによる収入	283,166	—
長期借入金の返済による支出	△556,046	△615,500
リース債務の返済による支出	△101,655	△90,820
その他	△409	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,945	△706,407
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,397,317	△544,265
現金及び現金同等物の期首残高	2,866,029	1,332,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,468,711	788,026

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 4. 補足情報

## (1) 連結売上高の内訳

	前第3四半期 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)		当第3四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	20,477,913	96.4	15,591,586	96.1	△4,886,326	76.1
アルファトレンド㈱	751,812	3.5	622,535	3.8	△129,276	82.8
㈱さいか屋友の会	11,676	0.1	10,476	0.1	△1,200	89.7
小計	21,241,403	100.0	16,224,599	100.0	△5,016,803	76.4
内部売上高の消去	△739,387	—	△614,265	—	125,122	—
合計	20,502,015	—	15,610,333	—	△4,891,681	76.1

## (2) 店別売上高(単体)

	前第3四半期 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)		当第3四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	9,377,589	46.7	8,469,177	55.4	△908,412	90.3
横須賀店	6,289,936	31.3	6,005,728	39.3	△284,207	95.5
川崎店	4,011,445	20.0	715,255	4.7	△3,296,189	17.8
町田ジョルナ	400,680	2.0	99,699	0.6	△300,981	24.9
本社	7,129	0.0	—	—	△7,129	—
小計	20,086,780	100.0	15,289,860	100.0	△4,796,919	76.1
テナント及び手数料収入	391,133	—	301,726	—	△89,407	77.1
合計	20,477,913	—	15,591,586	—	△4,886,326	76.1

## (3) 商品別売上高(単体)

	前第3四半期 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)		当第3四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	5,522,263	27.5	4,141,033	27.1	△1,381,230	75.0
身回品	2,165,945	10.8	1,507,488	9.9	△658,456	69.6
雑貨	3,525,017	17.5	2,766,686	18.1	△758,331	78.5
家庭用品	758,547	3.8	465,195	3.0	△293,352	61.3
食料品	6,646,555	33.1	5,543,744	36.2	△1,102,810	83.4
食堂・喫茶	597,404	3.0	367,597	2.4	△229,807	61.5
その他	871,046	4.3	498,115	3.3	△372,931	57.2
合計	20,086,780	100.0	15,289,860	100.0	△4,796,919	76.1

外商扱高	6,605,365	32.9	6,074,454	39.7
------	-----------	------	-----------	------